



ぼらんていあ通信

5月号
通巻 No.510

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2024年5月28日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info

特定非営利活動法人相模原ボランティア協会 2024年度通常総会開催 議案すべて異議なし 満場一致で承認される



5月18日(土)午後2時から、あじさい会館の階のボランティア活動室にて2024年度通常総会が開催された。司会は西本敬さんで、恒藤玲子副会長の開会の言葉と皆様の積極的な意見を歓迎いたしますとの挨拶で始まる。資格審査は事務局の小川美津枝さんから4月22日現在、正会員は110名です。今日の出席者18名、議決権行使者26名、委任状32名、計76名で正会員数の2分の1以上となり、「総会は成立する」と報告があった。加藤修会会長よりの総会出席のお礼と、協会への協力に感謝とともに、社会変化の中で人々のライフスタイルも変化していることにより、今まで日曜日に開催していた総会を土曜日に開催したと挨拶された。

その後議長(荒谷進さん)、書記(小山美智さん)、議事録署名人に下里作衛さんと佐藤邦子さんが推薦、承認される。

審議に入し、荒谷議長よりの質問は第1号議案2023年度事業報告、第2号議案2023年度会計報告後、まとめて受けつけますと説明があった。

第1号議案を渋谷久美副会長よりの説明。概要→2023年度は新型コロナウイルス感染症の分類から類となり、従来の規制が段階的に緩和された。しかし当協会の会員も複数名感染したが、種々の感染対策により集団感染は回避できたため活動への大きな影響は避けることができた。



事業についてそれぞれの事業報告がなされた。第2号議案を恒藤副会長よりの説明。予算額、決算額の差についての説明を行い、こちらもポイントを絞って丁寧な説明がなされた。

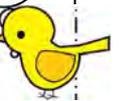
高橋功監事よりの、本日は杉本崇治監事は欠席であるが、4月20日に2023年度の監査を行い、事業報告、収支報告、さらにはこの内容を証するための関係諸帳簿、証拠書類について監査したところ、業務の執行並びに経理の内容は適正であると認められた旨の報告がされた。その後、第1号議案、第2号議案はそれぞれ異議なしの満場一致で承認された。

第3号議案役員選任について加藤会長よりの説明があり、社会福祉法人相模原社会福祉協議会から推薦された阿部真由美理事が転勤となり、2024年4月1日付けで理事を辞任されたことに伴い、後任として同市社協より梶原賢一郎氏の推薦があったため、無任所理事として承認を求め、任期は前任者の残任期間となることの報告を持って承認された。梶原新理事よりの「微力ながら努めさせていただきます」と挨拶をいただいた。

荒谷議長よりの第4号議案2024年度事業計画案、第5号議案2024年度予算案提案についても質問はまとめて受けつけますと説明。第4号議案、第5号議案を加藤会長よりの説明。これからのボランティア協会は従来の事業が社会のニーズに合った活動となっているか見直し、社会のニーズに答える活動の発掘展開が求められると考えています。相模原市や市民のために貢献する協会として頑張りたいと思いますので、会員の皆様の絶大な協力と支援をよろしくお願いいたします。また事業内容についてそれぞれの事業計画書が説明された。第5号議案の予算案の提案では、前年度と今年度の予算額の異なった箇所について丁寧な説明がされた。第4号議案、第5号議案も異議なしの満場一致で承認され、すべての審議が終わる、総会は滞りなく無事に終了した。

最後に加藤会長よりのありがとうございました、今後ともよろしくお願いいたしますと挨拶があった。(高橋・小山)

よろしく
お願いします!



新しい事務局員さんをお迎えしました!

♣️ 荒谷洋子様
あひやみし

今年度よりボランティア協会の事務局員のお仲間に入れていただきました荒谷洋子様です。

2019年開催の傾聴講座を受講し、これまで傾聴ボランティアを行ってまいりました。1年半ほど担当させていただいた利用者さんが施設に入られることになり、事務局へとお声をかけていただきました。

実は、3月に数回不見に伺ったのですが、仕事が多岐にわたる細かいので、全く自信が持てませんでした。それでも踏み切ったのは事務局の皆様への情熱に燃れたからこそでしょうか、気がつけば5月の歓迎会に一番乗りしていました。

今はまだ事務局の皆様との足手まといではあります。ボランティア会員の皆さんのサポート役として、また利用者さんとの橋渡しとしてお役に立ちます。努めたいと思っております。

♠️ 和田真由美様
わたまゆみ

5月よりボランティア協会事務局でお手伝いさせていただいております和田真由美様です。

関東に来て4半世紀以上になりますが、コッテリとの関西人です。よって若干(大いに)イントネーションがおかしいところがあると思います。仕事を辞して4年近く、週1回程度のレッスンの他、読書三昧の毎日です。また少しした日々を過ごしていました。好きな作家はたぐいありますが、宮部みゆきの「孤宿の人」は特に心に残っています。

お仕事はなにぶん右も左もわからない新参者です。ご指導のほうよろしくお願ひいたします。



イラストは
和田さんの娘さん作!

クイズに挑戦



大人も子どももみんな大好きなラーメン。あの「汁」が何からなるかご存知ですか?

① 次のうち、失敗がきっかけとなって偶然誕生したラーメンはどれでしょうか。

- ア 味噌ラーメン
- イ 塩ラーメン
- ウ 醤油ラーメン
- エ とんかつラーメン

② ラーメンは漢字で「拉麺」と書かれますが、「拉」の意味は何でしょうか。

- ア ひねる
- イ 引く
- ウ 伸ばす
- エ 切る

③ ラーメンの丼によく描えがかれている四角い渦巻模様を表しているものは何でしょうか。

- ア 雲
- イ 虹
- ウ 波
- エ 雷



6月の記念日は?

小倉義男

6月15日は、生姜の日です。古くからすくた調味料として、体に良い食材として、生活に取り入れられてきた生姜は、奈良時代から神様への供え物として献じられ、6月15日に感謝の祭りが行われてきたそうです。この日を生姜の魅力も多くの人に知ってもらおうと(株)永谷園が制定。生姜の古名である「はじかみ」を名乗る石川県金沢市の「波自加禰神社」ではこの日に「はじかみ大祭」が行われています。



小倉画

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

会員つばやき

手話ダンス交流会に参加して

高橋 功
たかはし いさお

4月25日に横浜フーボール ラポールシアターで開催された神奈川県の手話ダンス交流会ハートフルフェスティバル#19を見に行きました。

今回の参加サークルは、10サークルで1サークル7~8人の人たちが32曲を曲に合わせて一糸乱れず踊るが、衣装を含め素晴らしいものです。

これは見ないと分かりませんが相模原の「花言葉」は10月開催の「ほかほかふれあいフェスタ」にも出場予定です。ぜひ皆さんも観覧してみたいですね。

因みに歌は「忘れな草をあなたに」「野に咲く花のよこごえ」「あの素晴らしき恋をもう一度」「恋のまぼろし」「空に太陽のある限り」等々いろいろあります。



市内企業訪問記



「巡るまわりの」

～日本フードエコロジーセンター～
食品ロスを減らして生産に・エネルギーに



4月30日、田名塩田の工業団地の中、食品リサイクルの会社、日本フードエコロジーセンター（J.F.ECOシエイフェック）の工場を訪問しました。

食品廃棄物を扱うと伺っていましたが、においもせずさっぱりと清潔な印象の工場です。入り口で靴の消毒をして入場。事業部部長の高原淳（たかはらじゅん）さんの話で工場の案内をいただきました。廃棄物処理の資格も持っている高原さんの「食品リサイクル事業」のお話はとても分かりやすいものでした。



優しい笑顔の高原さん



日本フードエコロジーセンター



入口で靴の消毒を！



*「JFECO」の「食品リサイクル事業」を営む御社の理念を教っていただきました。

社長の高橋巧一（たかはしこういち）氏からは「ここから環境に取組むことで、食の循環の会社を立ち上げました。日本では食料自給率だけでなく、家畜の飼料の自給率も低いという問題の一方で、多くの食品廃棄が発生しており、その処理に多額の税金が投入されています。このことを同時に解決でき、環境・経済両面から持続可能な取組みとして「食品廃棄物を養豚飼料に加工する」という事業を行うことになったのです。



発酵タンクで一日⇒出来上がり



液体飼料はタンク車で各地農場へ

*工場生産した「豚用HPIハーブ」を使った「エコフーズ」。

「エコフーズ」は、期限切れや食品製造過程で出る食品廃棄物を発酵させた飼料のことです。エコフーズには様々な種類がありますが、この工場では液体状の養豚用飼料を製造しています。乾燥させたことでコストを抑え、発酵により保存性を高めています。また粉塵が出ないので豚・畜産農家の方の健康に良いといった利点があります。契約した食品業者などから廃棄されてしまう多様な食品を受け入れ、輸入の配合飼料より安価で安全・安心な飼料により健康的な豚肉が提供されます。

*その原料となる食品廃棄物は「ごみ」ではなく、

外食の食べ残しなどの残飯、家庭の生ごみやびん、缶、ペットボトル、製造過程で出たものや売れ残り、品質の良いものを使用します。相模原市内やその近隣の180社以上の食品関連事業所や学校給食から回収し、原則としてその日のうちに飼料へと加工しています。

ごみとして焼却しないで済めば、石油の消費や二酸化炭素の排出を減らし、環境への負担を減らせるなどごみ処理問題の解決にもつながります（市町村で焼却されるごみの4割は食品廃棄物が占めています）。

（恒藤・杉崎）

「エコフーズ」は「豚が食べているのか、どうで買えるのか、また見学させていただいた工場内の様子など、続きはぼらんていあ通信の月号に掲載します。お楽しみ！



『ジャパンSDGs アワード最優秀賞』や『経営者「環境力」大賞』受賞の表彰状や盾がたくさん！



（株）日本フードエコロジーセンター
〒252-0245
相模原市中央区田名塩田 1-17-13
TEL：042-777-6316
代表取締役 高橋巧一（獣医師）

理事会報告

5月18日(土)理事会(理事の名出席)
総会終了直後、新体制最初の理事会がありました。



◆報告・審議事項

- ・今年度の理事会開催日は昨年度同様第2土曜日の午前13時。
- ・相模原市・市社会福祉協議会から表彰への推薦依頼がきているが、会長、副会長で人選を進める。
- ・今年度の組織機能図は次回理事会で検討整理する。

・恒例の障がい者との交流ボウリング大会を6月に開催するが、それとは別に、子ども対象の大会について検討を進める。

・外部のフエスタ、事業への参加の可否について検討した。

・3月に逝去された会員のご遺族から寄付をいただいた。使途については今後検討する。

次回理事会(6月8日(土)) 11時より

お知らせ

交流ボウリング大会開催のお知らせ

今年も相模原パークレーンズさんのご好意により、6月29日(土)9時〜、障がい者団体の皆さんとボランティアが一緒に、ボウリング大会を開催します。

ぼら通来月号に大会の様子を掲載しますのでお楽しみに♪



相模原ボランティア協会 6月の予定

日	時間	内容
8(土)	10:00~	協会の在り方検討会議
	11:00~	定例理事会
9(日)	12:00~	映像企画実行委員会
12(水)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
	18:30~	ほかふれ2024・実行委員会
13(木)	13:00~	講座検討委員会
15(土)	13:00~	ハンディキャブ・事務局合同委員会
18(火)	14:00~	傾聴委員会
19(水)	13:00~	交流ボウリング大会・実行委員会
25(火)	10:30~	ぼら通6月号印刷
	13:30~	ぼら通6月号発行
29(土)	9:00~	交流ボウリング大会



このマークは?

《 障害者雇用支援マーク 》
公益財団法人ソーシャルサービス協会が障害者の在宅障害者就労支援並びに障害者就労支援を認めた企業、団体に対して付与する認証マークです。

毎月11日はイオン橋本店でお買い物を!!

お買い物金額の1%がボラ協への寄付金になります。
発行された黄色いレシートは1Fの黄色のボックスNo.5(ボラ協用)にお入れください。昨年度は登録4店で65,577円になりました。今年度はイオン橋本店のみとなります。ご協力をお願いします。



松原理事

5月6日(月)にイオン橋本店にて『イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン 贈呈式』があり、松原理事が寄付金をいただけてきました!

クインの巻



①は(クイン) 鍋をつっかり煮立たせてスープが濁ってしまったものの、味見をしてみたら美味しかった、ということ偶然誕生したそうです。

②は(アヒン) 「拉」は中国語で「ひっぱる」という意味です。麵をひっぱるながらのぼして作ることにちなみます。

③は(雷) 「雷文」と呼ばれる、中国の伝統的な模様です。

第2回

ハンティキャブ（H.C）
運転手からハンタクルー



良かったとは、50年以上相模原市で生活をしていますが、初めての道やスポットを知ることが行動範囲が広がったことです。新たに知った場所へプライベートで買い物をするのが楽しくなっています。

他のボランティアの方がほとんど人生の先輩ばかりでそのバイタリティーに驚かされています。年を重ねても先輩方のように、意欲的で元気に適している思いが強くなりました。

■運行の際に心がけていることはなにか。一つ、一番大切に思っていることは事故を起こさないことです。その他は利用している方が怖い思いをしないように優しい運転をするとか、緊張感を与えないような話し方をすることです。

■ハンティキャブの運転に何か難しかった点。ありがたいことにこのように活動をしていて嫌な思いをしたことはなにも、特に運転はあきらめません。これからますますおのずから運転がよくなると思っています。

利用者の方の気持ちに寄り添う姿勢がお話の端々に窺える確率が高いです。運転手の中には「一番の手」

ぜひハンティキャブの運転を未経験の方にも支えていただきたいと願っています。

これからますますお願っています。

(杉崎)



篠島さんと追悼文

高橋 功

篠島紀子さんが6月10日逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。心から紀子さんの冥福をお祈り申し上げます。

5月8日には主人の篠島譲さんが来所され紀子さんの強い遺志により多くの多額の寄付を頂きました。協会として紀子さんの強い遺志を感じ、有難く戴くことと協会のため有意義な活用をお約束しました。

紀子さんは、2003年(平成15年)にボラ協に入会され、先ず、南事務所に入られました。私との出会いはH.C(福祉車両)だったと思いますが、紀子さんは介助として活躍されました。紀子さんは「主人と同じ富山県の砺波市の出身で、高校の合唱大会があるので毎年砺波に帰って皆で歌った。食べ物も蕎麦やコーヒーは大好きで、H.Cの待ち時間には蕎麦屋とか喫茶店によく行きました。その他の趣味では、ゴルフ、上鶴間公民館ではシャンソン、英会話等とお聞きました。

その後南事務所があげさい会館に統合された時に、紀子さんもあげさい連絡所に移られました。事務所では連絡調整、黄色いシートキャンペーンなども担当し、そのころ始まった傾聴活動も参加されました。勿論、行手伝いとして桜まつり、ほかほかふれあいフェスタ、東林間祭りのなどの出店バザーには欠かせない存在でした。

2、3年前に発病された後、入院された時も、退院後すぐに事務所に出て来られ皆を驚かせたり。私との最後の傾聴は去年の11月に東林間の利用者のお宅に行った時、帰りに疲れて歩けないので主人に迎えに来てもらい帰って行かれました。とにかく紀子さんは仕事熱心で強い人でした。安らかにお休みください。

(杉崎)

(杉崎)

ボランティアさん募集！



① 「もったいない」を「ありがとう」へ（フードバンク活動）

依頼者：フードコミュニティ（場所：中央区田名 等）

内容：子育て世帯や生活困窮者世帯、子ども食堂等食材を必要としている方々のために、食材の引き取りや配送、袋詰め等を行う。

日時：依頼者と相談の上で決定（月1回から活動可）

その他：車で配送活動を行っていただける方には、走行距離と回数に応じた少額の活動費を支給

申込み：070-4481-4094/foodcommunity.1001@gmail.com 担当：中臺(なかだい)

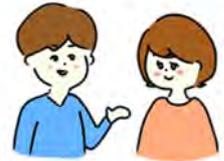
② 高齢者福祉施設における利用者のお話し相手・日課活動のお手伝い

依頼者：チャオデイサービスセンター（場所：相模原4-7-14）

内容：利用者さんのお話し相手、ドライバー掛けの手伝い 等

日時：月～金曜日の午前10時～正午（都合の良い曜日をお選びください）

その他：月1回の活動でも可、1日につき1名まで募集



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



《今月のイラスト》
… 本読んで！ 《

山口尚美画



訃報
ボランティア協会事務局で尽力いただいた篠島紀子さんが3月10日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。HCボランティアや事務局で長年活動を共にされた高橋会員からの追悼文を5ページに掲載しています。

編集後記
過日、白内障の手術を行った。目を開けてびっくり、よく見える。いや見えすぎる。見えなくてよかったものが沢山…。免許更新のための手術だった。
運転中余分なものが見えて疲れがこりもあつた。
(石)

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<4月の寄付者>

2名の方からご寄付をいただきました。

<4月の寄付金>

総額 3,500 円でした。

